

(社) 日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会
第41回 レベル1PRA分科会 議事録

1. 日時 第41回：2013年5月22日 10：00～18：30
2. 場所 原安進 第1,2会議室
3. 出席者

(出席委員) 高田主査、小倉副主査、村田幹事、岩谷委員、大塚委員、岡野委員、梶本委員(午後のみ)、桐本委員、黒岩委員、小谷委員、藤井(小森委員代理、午後のみ)、久持委員(午後のみ)、廣川委員、前原委員、濱口(村松委員代理)、牟田委員、山中委員

(午前：14名出席、午後：17名出席)

(常時参加者) 鈴木、藤田、友澤、佐竹 (4名)

(傍聴者) 池田 (1名)

(敬称略)

4. 配布資料

- P4SC-41-1 第40回レベル1PRA分科会議事録(案)
- P4SC-41-2 人事について
- P4SC-41-3 リスク専門部会のコメント対応
- P4SC-41-4 実施基準改定案
- P4SC-41-5 実施基準改定案(見え消し付き)

参考資料

- 参考—1 第40回レベル1PRA分科会議事メモ(案)
- 参考—2 リスク専門部会書面投票結果
- 参考—3 当面のスケジュール案
- 参考—4 レベル1PRA分科会委員リスト
- 参考—5 標準委員会最終報告(案)

5. 議事内容

冒頭、主査より、本実施基準案がリスク専門部会の投票で可決された旨の報告があった。また、出席者が定足数以上であることの確認があった。

- (1) 第40回の議事録確認

資料P4SC-41-1により前回議事録を確認した。特にコメントはなかった。

(2) 人事について

資料 P4SC-41-2 を用いて、幹事より委員の退任、及び所属変更の報告があった。また、濱口委員候補の委員選任について審議され、全員一致で承認された。

(3) リスク専門部会のコメント対応について

資料 P4SC-41-3～P4SC-41-5 を用いて、リスク専門部会委員からのコメントへの対応案について議論した。主な議論は以下のとおり。

a. 1～3 章

特に大きな議論はなく、コメント対応案は了解された。

b. 4 章

図 1 と附属書 A 図 A の重複についてのコメント対応が議論になった。図 A のレベル 2 PRA とのインターフェイスを一部修正して図 1 に反映し附属書 A の図は削除するとともに、レベル 2 とのインターフェイスの説明を附属書 A に記載することとなった。また、コメント対応表にレベル 2 PRA 標準の次回改定への懸案として明記することとした。

c. 5 章

用語として「シビアアクシデント」を新たな法律の表現に合わせて「重大事故」とすべきかどうか議論になったが、特に合わせる必要はなく、他の学会標準で標準名としてシビアアクシデントが用いられているということもあるため、シビアアクシデントのままとすることとなった。

d. 6 章

小谷委員より、コメント対応案の説明があった。また、6.1.1 の最後にある箇条書き 2 項目の「複数プラントに影響を及ぼす起因事象」は除する案もあるがどうすべきか、及び、6.2.1 の箇条書きの 2 項目に対して、グループ化の方法ではないのではないかとのコメントへの対応について、相談があった。また、附属書 E、附属書 H について起因事象の記載を明確化することとなった。

e. 附属書 A の図 A におけるレベル 2PRA との関係について

図 A について、レベル 2PRA の作業項目との関係について再度審議し、構成を決定した。基本は、レベル 2 PRA との関係で必要なものは、文章で明確化する方針とする。この結果、図 A は、レベル 2PRA 標準と一致していない状態となるが、中身はあっていると判断した。

f. 7 章

廣川委員よりコメント反映内容について説明があり、それぞれの反映内容について審議した。この結果、大まかなコメント対応方針および修正方針を確認した。「安定したプラント状態」は、参照元を明確化することとなった。

g. 8 章

廣川委員よりコメント反映内容について説明があり、それぞれの反映内容について審議した。この結果、コメント対応方針および修正方針を確認した。用語として、識別と同定

が混在しているため、調整することとなった。

h. 9章

藤井委員代理よりコメント反映内容について説明があり、それぞれの反映内容について審議した。この結果、コメント対応方針および修正方針を確認した。

i. 10章

久持委員よりコメント反映内容について説明があり、それぞれの反映内容について審議した。この結果、コメント対応方針および修正方針を確認した。

主な議論は以下の通りである。なお、10.1の留意事項の箇条書きは、停止時PSA標準の記載事項の追記との提案があったものであるが、以降の要件に記載していることでもあり、必要性も小さいことから削除することとなった。

j. 11章

藤井委員代理よりコメント反映内容について説明があり、それぞれの反映内容について審議した。この結果、コメント対応方針および修正方針を確認した(特にコメントはなし)。

k. 12章

黒岩委員よりコメント反映内容について説明があり、それぞれの反映内容について審議した。この結果、コメント対応方針および修正方針を確認した。なお、附属書AVのAV.2は、議論の結果、削除することとなった。

l. 13章

黒岩委員よりコメント反映内容について説明があり、それぞれの反映内容について審議した。この結果、コメント対応方針および修正方針を確認した。

m. 14章

山中委員よりコメント反映内容について説明があり、それぞれの反映内容について審議した。この結果、コメント対応方針および修正方針を確認した。

(4) 今後のスケジュールについて

参考-3を用いて今後のスケジュールを確認した。また、次回分科会は、8/29 PMとなった。

以上